

B.1 モニタリング実績 ※1 ※2

=選択/記入するセル

=必要な場合のみ記入するセル

=入力しないセル

モニタリング項目			モニタリング方法 ※3			計量器			備考
記号	定義	単位	概要	詳細	頻度	計量器の種類	精度	計量器の校正方法の説明	
Area <sub>Forest,i</sub>	森林施業が実施された森林の面積 (0.9を乗じた値)	ha	実測 (コンパス測量)	補助金交付申請で用いたコンパスで対象林班の周囲を実測したデータを援用する。データがない場合は同様に実測する。	初回検証申請時に1回	(有)牛方 S-28	閉合差 5/100以内	メーカーの推奨する校正方法に従	
Area <sub>Forest,cut,i</sub>	主伐が実施された森林の面積	ha	実測 (コンパス測量)	主伐実施の際は領域毎にコンパスで対象林班の周囲を実測する。	主伐実施時に1回	(有)牛方 S-28	閉合差 5/100以内	メーカーの推奨する校正方法に従	
ΔTrank <sub>SC,i</sub>	(年間) 幹材積成長量	m <sup>3</sup> /ha	収穫予想表	秋田県民有林スギ人工林収穫予想表等作成に関する基礎調査書 (昭和55年3月 秋田県林務部) P157~163 「3. 林分材積表 地位級1~7」、および秋田県地域森林計画編成業務要領 (平成24年8月28日 森-1571) P40	検証申請時に1回	—	—	—	
Trank <sub>SC,cut,i</sub>	幹材積量	m <sup>3</sup> /ha	収穫予想表	秋田県民有林スギ人工林収穫予想表等作成に関する基礎調査書 (昭和55年3月 秋田県林務部) P157~163 「3. 林分材積表 地位級1~7」、および秋田県地域森林計画編成業務要領 (平成24年8月28日 森-1571) P40	検証申請時に1回	—	—	—	
WD <sub>i</sub>	容積密度	t/m <sup>3</sup>	デフォルト値	日本国温室効果ガスインベントリ報告書に基づく方法	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
BEF <sub>i</sub>	拡大係数	—	デフォルト値	日本国温室効果ガスインベントリ報告書に基づく方法	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
R <sub>ratio,i</sub>	地下部率	—	デフォルト値	日本国温室効果ガスインベントリ報告書に基づく方法	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
i	地位等による階層	—	実測	スギは30ha以内に1か所プロットを設置、プロット内の地位の特定に胸高直径の中央値付近の立木10本程度の樹高を測定し平均樹高を求める。  カラマツについては地位級の段階がないので、幹材積や幹材積成長量に樹齢毎の段階以外はないものとする。	初回検証申請時に1回	有限会社牛方 輪尺9D	—	測量日ごとに、測量前に点検を行う	
						カールライス社 ブルーメライス	—	測量日ごとに、測量前にキャリブレーションを行う	

※1 プロジェクト登録申請日以降モニタリング方法に変更がない場合は、プロジェクト計画書と同じ内容を記載する。

※2 面積、胸高直径、樹高の実測結果の野帳等は、検証機関や制度管理者から要求があった場合に提出できるよう準備しておくこと。

※3 モニタリングエリアごとに異なるモニタリング方法を適用する場合には、行を追加した上でモニタリングエリアごとに記載すること。

## B.2 吸収量の算定結果

=選択/記入するセル

=入力しないセル

### B.2.1 本報告において認証を申請する期間

認証を申請する期間	2018年04月01日 ~ 2019年03月31日
-----------	---------------------------

※ 認証を申請する期間は、認証対象期間（プロジェクト登録申請日の含まれる年度の4月1日から、同日より8年を経過する日若しくは2031年3月31日のいずれか早い日までの間で設定）内であり、過去の検証済み期間、検証申請日以降の期間、他の類似制度への認証申請の対象期間の何れとも重複がないこと。

### B.2.2 吸収量

$$C_{total} = C_{PJ} - C_{cut} - C_{BL}$$

記号	定義	単位
$C_{total}$	当該年度の吸収量	tCO2
$C_{PJ}$	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
$C_{cut}$	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
$C_{BL}$	当該年度のベースライン吸収量	tCO2

年度	当該年度の ベースライン 吸収量 $C_{BL}$ (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後吸収量 $C_{PJ}$ (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後排出量 $C_{cut}$ (tCO2)	当該年度の 吸収量 $C_{total}$ (tCO2)
2013年度	0	0	0	0
2014年度	0	0	0	0
2015年度	0	0	0	0
2016年度	0	0	0	0
2017年度	0	0	0	0
2018年度	0	2133	0	2133
2019年度	0	0	0	0
2020年度	0	0	0	0
2021年度	0	0	576.7	-576
2022年度	0	0	0	0
2023年度	0	0	0	0
2024年度	0	0	0	0
2025年度	0	0	0	0
2026年度	0	0	0	0
2027年度	0	0	0	0
2028年度	0	0	0	0
2029年度	0	0	0	0
2030年度	0	0	0	0
合計	0	2133	576.7	1557

※1 当該年度のプロジェクト実施後吸収量は、B.2.3に記載の当該年度のプロジェクト実施後吸収量を記載すること。

※2 当該年度のプロジェクト実施後排出量は、B.2.4に記載の当該年度のプロジェクト実施後排出量を記載すること。

※3 当該年度のベースライン吸収量は、B.2.5に記載のベースライン吸収量を記載すること。

### B.2.3 プロジェクト実施後吸収量

$$C_{PJ} = C_{PJ,AG} + C_{PJ,BG}$$

記号	定義	単位
$C_{PJ}$	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
$C_{PJ,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の吸収量	tCO2
$C_{PJ,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の吸収量	tCO2

年度	一年当たり地上部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,AG}$ (tCO2)	一年当たり地下部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,BG}$ (tCO2)	一年当たりプロジェクト実施後吸収量 $C_{PJ}$ (tCO2)	当該年度のモニタリング期間 (日)	当該年度のプロジェクト実施後吸収量 $C_{PJ}$ (tCO2)
2013年度	0	0	0	0	0
2014年度	0	0	0	0	0
2015年度	0	0	0	0	0
2016年度	0	0	0	0	0
2017年度	0	0	0	0	0
2018年度	1705.489084	427.5145023	2133.003586	365	2133
2019年度	1679.854965	421.2526611	2101.107626	0	0
2020年度	1663.466367	416.8183469	2080.284713	0	0
2021年度	1628.537963	408.3699273	2036.907891	0	0
2022年度	1584.372151	397.4141727	1981.786323	0	0
2023年度	1524.09904	382.0600245	1906.159065	0	0
2024年度	1502.938317	377.023499	1879.961816	0	0
2025年度	1487.174636	372.7454143	1859.920051	0	0
2026年度	1455.749518	365.1728158	1820.922333	0	0
2027年度	1412.240412	354.233486	1766.473898	0	0
2028年度	1363.928605	342.1713605	1706.099966	0	0
2029年度	1338.36968	335.7803156	1674.149996	0	0
2030年度	1331.192931	333.964735	1665.157666	0	0
合計					2133

※1 一年当たり地上部バイオマス中の吸収量及び一年当たり地下部バイオマス中の吸収量の詳細については、(別紙)吸収量算定シートに記載すること。

※2 モニタリング期間が年度の途中で終了する場合は、当該年度については「当該年度のプロジェクト実施後吸収量＝一年あたりプロジェクト実施後吸収量×モニタリング期間(日)÷365(日)」として算定すること。なお、当該年度が2015年度、2019年度、2023年度、2027年度の場合は「÷365(日)」に代えて「÷366(日)」で算定すること。

#### B.2.4 プロジェクト実施後排出量

$$C_{cut} = C_{cut,AG} + C_{cut,BG}$$

記号	定義	単位
$C_{cut}$	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
$C_{cut,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の排出量	tCO2
$C_{cut,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の排出量	tCO2

年度	当該年度の地上部バイオマス中の排出量 $C_{cut,AG}$ (tCO2)	当該年度の地下部バイオマス中の排出量 $C_{cut,BG}$ (tCO2)	当該年度のプロジェクト実施後排出量 $C_{cut}$ (tCO2)
2013年度	0	0	0
2014年度	0	0	0
2015年度	0	0	0
2016年度	0	0	0
2017年度	0	0	0
2018年度	0	0	0
2019年度	0	0	0
2020年度	0	0	0
2021年度	457.6766581	118.9959311	576.7
2022年度	0	0	0
2023年度	0	0	0
2024年度	0	0	0
2025年度	0	0	0
2026年度	0	0	0
2027年度	0	0	0
2028年度	0	0	0
2029年度	0	0	0
2030年度	0	0	0
合計	457.6766581	118.9959311	576.7

※1 当該年度の地上部バイオマス中の排出量及び当該年度の地下部バイオマス中の排出量の詳細については、(別紙)排出量算定シート(FO-001)に記載すること。

#### B.2.5 ベースライン吸収量の考え方

##### (1) ベースライン吸収量の考え方

本プロジェクトにおけるベースライン吸収量は、1990年4月以降に森林施業(植栽、保育、間伐)を行った人工林の面積において、2013年4月以降適切な森林経営がなされなかった場合の吸収量とする。

##### (2) ベースライン吸収量の算定式

$$C_{BL} = 0$$

記号	定義	単位	想定値
$C_{BL}$	当該年度のベースライン吸収量	tCO2	0